

LEDユニットについて

- ・この器具のLEDユニットの交換はできません。あらかじめご了承ください。
- ・無理に器具を分解して一般のLED素子と交換しないでください。 **火災・発熱・器具破損の原因**になります。
- ・この器具のLEDユニットの寿命は、30℃以下の環境・1日10時間点灯で約40,000時間です。
- ・LEDの明るさ、光色には個体差があります。あらかじめご了承ください。

照明器具ご使用についての安全上のご注意

⚠ 警 告	
❗	感電のおそれがあります ◇器具の交換やお手入れの際には、必ず電源を切ってください。 ◇異常時(煙が出たり、変な臭いがする時)には、速やかに電源を切ってお買い上げの販売店にご相談ください。
⊘	感電・火災のおそれがあります ◇器具及び部品の改造をしないでください。 ◇器具のすきまに、異物(金属類や燃えやすい物等)を差し込まないでください。
🔥	火災のおそれがあります ◇器具を布・紙等でおおったりしないでください。 又、揮発物等の燃えやすいものに近づけないでください。 ◇指定ランプ以外は使用しないでください。

⚠ 注 意

- ◇器具の保守・お手入れ等で器具を回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇明るく安全に使用していただくために、**器具を定期的に(6ヶ月に1回程度)清掃、点検**してください。
 器具のネジや部品のゆるみがないか、損傷、着脱、がないかお調べください。
- ◇照明器具には寿命があります。設置後およそ8～10年経過しますと外観に異常が無くても内部の劣化は進行しています。
 3～5年に1回は、電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換ください。
 (使用条件、使用環境で異なりますが、一般に照明器具の寿命の目安は10年です。)

保守とお手入れ

⚠ 注意

必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因になります。

お 願 い

- ◇器具のお手入れの際に、ガンリンやシンナー・ベンジン等揮発物で拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
変色・破損の原因となります。 汚れがひどい場合は、やわらかい布を中性洗剤に浸し、よくしぼってふきとり、乾いたら、柔らかい布で仕上げてください。
- ◇ぬれた手で器具に触らないでください。



お読みになりましたら、この取扱説明書は、いつでも見られる所に、大切に保管してください。

アフターサービスのお問い合わせ



商品に関するご相談およびお問い合わせは、器具本体の表示に書いてある型番をご確認のうえ、お買上げいただきました販売店・工事店へお気軽にご連絡ください。部品についてのお問い合わせは、「部品名称」のイラストをご参照ください。

お客様相談窓口

ナビダイヤル **0570-550-575**
 (全国共通番号)

受付時間(土日祝を除く) 10:00～17:00

- 土日祝・長期休暇・YAMAGIWA名古屋、YAMAGIWA大阪の定休日(一部地域のみ)を除きます。
- おかけ間違いのないようお願いいたします。

通話料はお客様の負担となります
 PHSからは接続できません

お問い合わせサイト

<http://www.yamagiwa.co.jp/contact>

取 扱 説 明 書

BEGA



yamagiwa

このたびは、YAMAGIWAの照明器具をお買い上げくださいます。誠にありがとうございます。
 この説明書をよくごらんのうえ、正しく取り付け、正しくご使用ください。
 お読みになりましたら、この取扱説明書は大切に保管してください。

- 電気工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

目 次

- 1 ページ : 照明器具の取付(施工)についての安全上のご注意
 2 ページ : 同梱品と器具寸法・部品名称・取付方法
 3 ページ : 灯具部取付方法・施工時のご注意・定格表
 4 ページ : LED ユニットについて・照明器具ご使用についての安全上のご注意
 保守とお手入れ・アフターサービス

照明器具の取付(施工)についての安全上のご注意

⚠ 警 告

❗	火災のおそれがあります ◇電源接続の際は、取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇電気工事は電気設備技術基準及び内線規定に従って確実に行ってください。	⚡
	落下によるけがのおそれがあります ◇取付けは取扱説明書の取付方法にしたがって確実に行ってください。 ◇器具の取付けは、取付ける場所の強度を確認し、質量に耐えるところに確実に行ってください。 強度が不足している場合は、補強工事をしてから取付けてください。	
	感電のおそれがあります ◇工事が完了するまでは、必ず電源を切っておいてください。 ◇アース工事は電気設備基準及び内線規定にしたがって確実に行ってください。	
🔥	火災のおそれがあります ◇器具に表示されている以外のランプを取付けしないでください。	

⚠ 注 意

- ◇電気工事は電気工事店(有資格者)におまかせください。一般の方の工事は**法律で禁止**されています。
- ◇器具に表示された定格電圧(**定格±6%**)以外で、使用しないでください。
 定格電圧を越えた電圧でご使用になりますと**火災の原因**となります。
- ◇取付けた器具を説明書に従わず無理に回転させたり、引っ張ったり、振動や衝撃を加えたりしないでください。
器具落下によるけがの原因となることがあります。
- ◇この器具は屋内用器具ですが、風呂場等の湿気や水気の多い場所では使用できません。
感電・火災の原因となります。
- ◇器具取付の際に、壁紙・クロス貼り等の接着剤等が十分乾燥してから器具を取付けてください。
メッキや塗装等の変色や、さびの原因となります。
- ◇アース工事が必要な器具ですので、電気設備技術基準及び内線規定にしたがってアース工事を行ってください。
- ◇振動や衝撃のあるところでは使用しないでください。不点、ランプ寿命の原因となることがあります。
- ◇調光器に対していない器具は、調光器を使用しないでください。火災の原因となります。

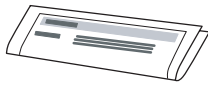
お 願 い

電気工事店様へ…工事が終わりましたら、この取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。

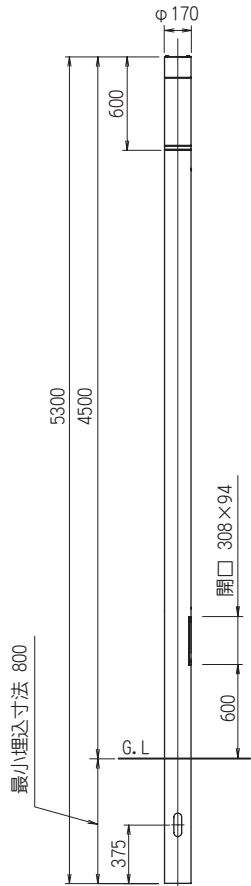
同梱品と器具寸法

■同梱付属品

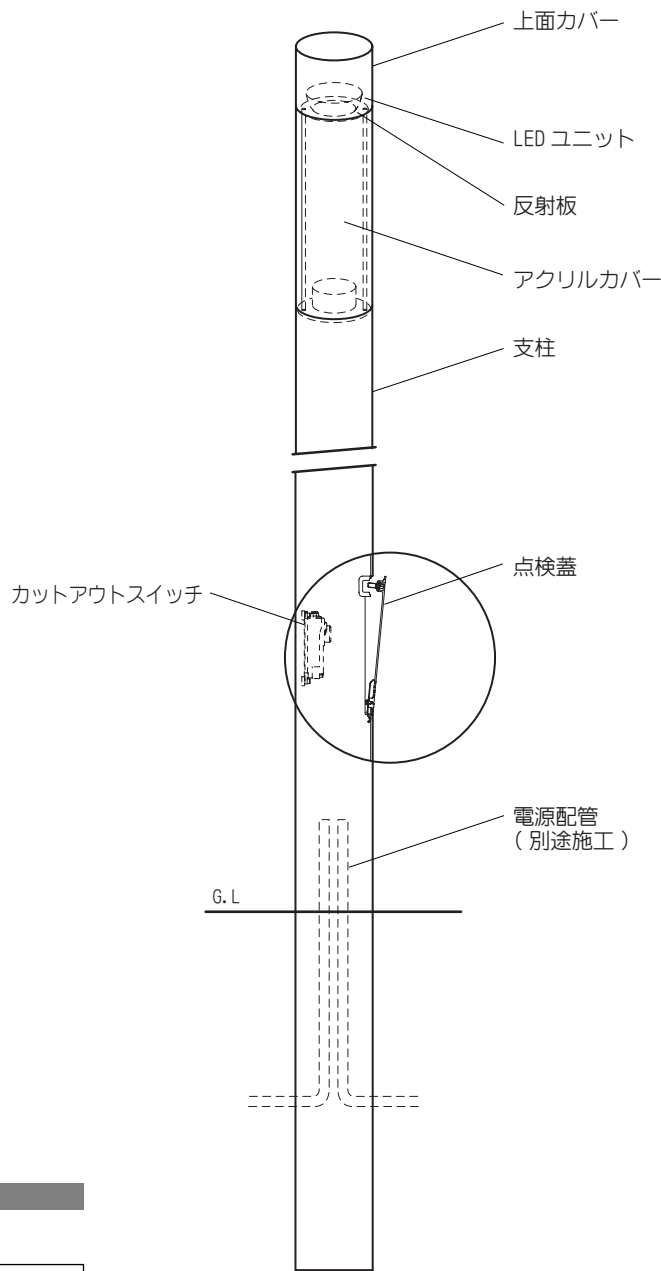
取扱説明書（この説明書）



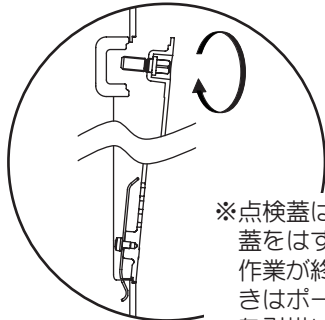
■同梱付属品



部品名称



点検蓋部拡大図



※点検蓋はM10のネジを緩めて蓋をはずしてください。作業が終わり、蓋を閉めるときはポールの開口部の下に蓋を引掛けてネジを締め付けてください。

取付方法

△ 注意 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因となります。

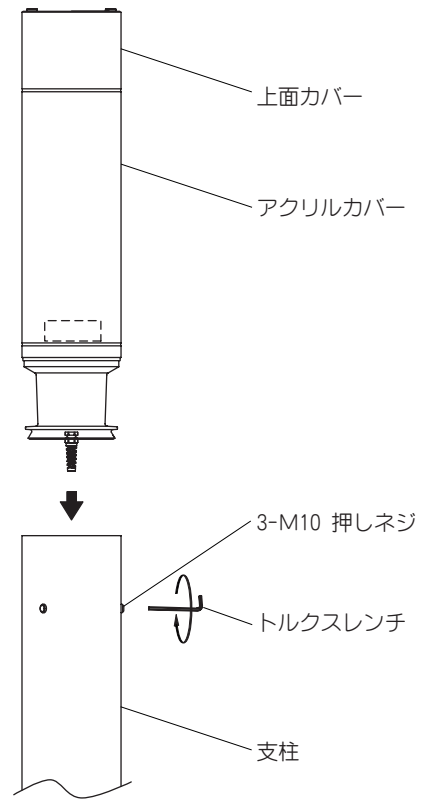
- ポールを埋め込む前に十分余裕を持たせた電源電線をあらかじめポールに通しておいてください。
 - 電源電線は3芯を使用し、電源保護管等で保護してください。
 - 電源保護管は予備16(外径φ21)まで使用可。
- ポールを埋め込みます。コンクリート等でしっかり基礎を固め、約800mm埋め込んでください。
- 結線は必ずD種設置工事を行ってください。
- 結線が終わりましたら点検蓋を取付けてください。取付ネジの締め付けがゆるいと、ポール内に水が浸入しますのでパッキンがきくまでしっかりと締め付けてください。

灯具部の取付方法

- 灯具部を取付けてください。
 - 灯具部を支柱に差込み、3ヶ所のM10押しネジでとめます。
 - コードをはさまないように注意してください。

施工時のご注意

- 温度の高温な場所や常時水没する場所で、ご使用にならないでください。
- 電源の入った状態で器具の取付けはしないでください。感電のおそれがあります。
- 腐食性ガスの発生するような場所や振動のある場所、海岸隣接地帯でのご使用は短期間で器具が破損するおそれがあります。
- ネジ類は確実に締付けてください。転倒の恐れがあります。
- 調光(明るさの調節)はできません。
- 器具取付面の基礎をコンクリートでしっかりと固め、取付面が必ず水平になるように施工し、器具が傾かないように設置してください。
- 器具にもたれたり、衝撃をあたえたり、過度な圧力をかけないでください。転倒・破損の原因となります。
- 電源電線は必ず2PNCTキャブタイヤケーブル3芯1.25sq(外径φ10.5mm)～2.0sq(外径φ11.5mm)を使用してください。
- 電源の接続について、水気または湿気のある場所のため、屋内配線と器具電線の接続は自己融着テープと粘着ビニールテープで絶縁処理をしてください。



定格表

■器具本体

カタログ番号	型番	使用電圧 周波数	ランプ	消費電力	入力電流 (100V)	質量
H4716B	B7HF-15B1-1B	AC 100V 50/60Hz	LED(3000K) 29.4W Ra80	33W		35.2Kg

※ 本品の規格および外観は改良のため予告なしに変更する事がありますので、あらかじめご了承ください。

△ 注意

- ◇電気工事は電気工事店に（有資格者）にお任せください。一般のかたの工事は法律で禁じられています。
- ◇施工は取扱説明書に従い確実に行ってください。施工に不備があると落下・感電・火災の原因になります。
- ◇アース工事は電気設備技術基準及び内線規定にしたがって行ってください。不備がありますと感電・火災の原因となります。
- ◇断熱材・防音材をかぶせて使用しないでください。火災の原因となります。
- ◇器具を改造しないでください。落下・感電・火災の原因になります。
- ◇表示された電源電圧（定格電圧±6%）以外の電圧で使用しないでください。感電・火災の原因となります。
- ◇器具本体と専用電源装置の距離は、灯具から最大10mまでとしてください。